

# 確定申告書が届き始めました 封筒を開封して 中身を確認し申告に向けての準備を進めましょう！

お手元に確定申告書が届きましたか？

1月下旬から順次、確定申告書が皆さんのお手元に届き始めたかと思われます。集金などでの会員さん訪問時や各支部の班会で話を聞くと今年は例年に比べて届くのが少し遅かったようです。「ついに届いたか！」「申告の季節がやってきた…」と思いは様々かと思いますが確定申告へ向けて準備の程はいかがですか？

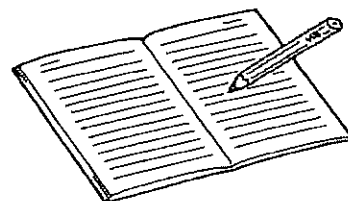
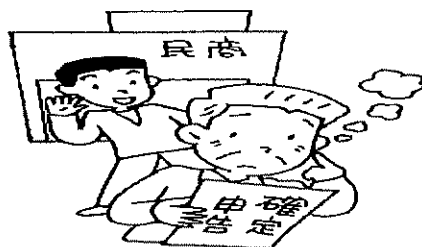
みなさん、まずは申告書の入った封筒を開けてみましょう！

当然のことながら、通常の所得税申告書は入っているかと思いますが例年と違う書類は入っていないでしょうか？申告書に限らず役所から届く書類は「開くのはイヤだ」と思うかもしれません。ぐに開け内容を確認する「習慣をつけるように」しましょう。

今年の申告においては医療費控除についての改正がありました。昨年までは医療費の領収書を封筒に入れて提出していましたが今年からは医療を受けた人が病院・薬局ごとに医療費を合計して記載する「医療費控除の明細書」を作成すれば領収書の提出が不要となります。税務署から届いた書類のなかに改正のお知らせとポイントが書かれた文書が入っていると思いますので確認をお願いします。

これから3月の確定申告

へ向けて班会が各支部で続々と開かれます。いろいろな要求やそれぞれの得意分野を持った会員が集まっているのが民商です。皆で助け合いながら自主記帳・自主計算を進め、しっかり準備をして自信を持って申告書の提出に臨めるようにしましょう！



## 国会では森友問題の追及が続いています

開会中の通常国会で昨年来、疑惑追及が続く森友学園による国有地の土地8億円値引き問題。管轄者である当時の財務省理財局長は不誠実な国会答弁を繰り返したにも関わらずその後、国税庁長官に就任しました。納税者からの「信頼」や「納得」により成り立つのが税金です。これから確定申告の季節を迎えようとするなか、その税金や国有財産の扱いについて不正や隠蔽が拭いきれない人物が国の税務行政のトップにいる資格があるのでしょうか？

## 婦人部が新年会を開催

所得税法56条についての学習の他、おいしい料理と温泉でゆっくり寛ぎました



1月末から降り続いた雪が止み晴れ間が覗いた2月2日(金)、「麻生の湯」を会場に婦人部が新年会を開催し6名が参加しました。会の前半は所得税法56条についての学習を実施。

家族経営における女性の働き分を経費として認めないこの法律は廃止に向けた世論を広めていかなければなりません。これまでも議会への働きかけ等を行ってきましたが今後の取り組みも重要になります。またその他にも税務調査の事やこれからの婦人部の活動についても話が及びました。

学習会の後はおいしい昼食を食ったり温泉に入るなどして皆で懇談。参加者からは「ゆっくり寛げて良かった。」との声が聞かれ楽しい1日になりました。